

事業概要【スタートアップ・イノベーション促進事業】

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	80,160千円 (26,720千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域における良質な雇用の拡大や本市の認知度向上を図るため、本市の雇用を支える成長意欲のある企業や人への投資の促進、スタートアップエコシステムの構築により、多様な人材が安心して働ける環境を整備することで、本市で活躍する人材母集団を拡大しイノベーション促進に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○外部連携による新規事業等イノベーション促進 ・新規事業のノウハウやスキル等既存リソースの不足に悩む市内企業と外部人材等とのマッチング及び新規事業創出の伴走支援（委託料）：16,000千円 ○スタートアップエコシステムの構築 ・大学発ベンチャー等スタートアップ創出のため、革新的な技術やアイデアを持つ市内企業や学生等を対象に、専門のメンターによるビジネスプランの壁打ち等の伴走支援を行う。（委託料）：2,500千円 ○ECモール進出応援プロジェクト ・ECモール進出に係る経費支援（補助金）：8,000千円 ・販売ノウハウ構築セミナー（謝礼）：220千円						
地域の多様な 主体の参画	総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数(+9人) ②イノベーション促進策による新規事業創出件数 (+15件) ③EC事業に参入する市内事業者のECモールでの売上額(+4.8億円)

事業概要【地域資源を活用した持続可能な観光未来都市推進事業】

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	302,900千円 (108,700千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	道後温泉本館の保存修理工事の完了、松山市駅前広場の整備、新たな都市ブランドスローガンの公表など本市に取って大きなトピックが重なるタイミングを逃さず、複数の要素を絡めながら一体的な施策を推進し、人口減少局面においても本市の魅力向上や、関係人口の創出、観光誘客の促進など地域の活性化に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○道後温泉地区へのアート作品の展開 ・作品制作（負担金）：40,000千円 ・参加型アートイベント開催（委託料）：5,300千円 ○官民連携によるエリアマネジメント推進事業 ・エリアマネジメント組織構築支援事業（負担金・補助金）：20,000千円 ・エリアマネジメント組織構築に係る人材育成事業（負担金）：25,000千円 ○ブランドメッセージ等の普及啓発 ・幸せメッセージ募集事業の開催（負担金）：8,000千円 ・ブランドメッセージ普及啓発PR（委託料）：10,400千円					  幸せになろう。 松山市 MATSUYAMA CITY 	
地域の多様な 主体の参画	総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客推定消費額（+157億円） ②外国人観光客数（+10,400人） ③道後温泉外湯3館の入浴客数（+140,000人） ④エリアマネジメント組織の構築に係るワークショップ開催数（+10回） ⑤松山市のブランドメッセージを見たり聞いたりしたことがある人の割合（+80%）

事業概要【日本の近代文学の源泉地「文学のまち松山」文化体験交流拠点施設整備事業】

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	195,000千円 (153,024千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	夏目漱石と正岡子規が同居した「愚陀佛庵」を核とした、本市が受け継いで来た歴史や文化を学び、体験できる交流施設を市内中心部に整備することで、松山という地域への理解を深め、愛着や誇りを感じられるまちづくりの更なる推進に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	体験交流施設を構成する、展示や交流スペースのある「展示棟」と当時を再現した「愚陀佛庵」の2棟の建築を行う。 ○建築物本体工事 115,144千円 (愚陀佛庵、管理・展示棟建築工事) ○建築物と不可分な設備工事 34,845千円 (電気設備工事、給排水・空調工事) ○解体工事 3,035千円 (敷地内の附帯施設等の解体費用)					 	
地域の多様な 主体の参画	・市内文化団体と連携して、施設の利用や展示内容構築、利用の呼びかけや情報発信を行う。また、教育機関と連携し、校外学習で利用するなど学習の場としての利用を検討する。 ・総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会移動数（転入-転出）（+612人） ②俳句ポストへの松山市内在住の投句者数（+254人） ③『坂の上の雲』のまちづくりの市民認知度（+12%） ④愚陀佛庵施設利用人数（+30,000人）

事業概要【若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	266,918千円（81,106千円）
事業タイプ ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・将来のまちづくりの担い手となる若年層をターゲットに大都市圏からの移住促進 ・本市在住の若年層への定住促進 ・“ふるさと松山”に愛着と誇りを持つことで、「松山に住み続けたい」「進学や就職で松山を離れたとしても、いつかは松山で暮らしたい」「何らかの形で貢献したい」と思う若年層に満ちた都市を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○若年層の求めるものの分析 ・ソーシャルリスニング（使用料）：1,980千円 ○若年層に魅力のあるコンテンツ ・デジタルコミュニティの運営（委託料）：660千円 ・地元企業との商品開発、イベント開催等（委託料）：15,070千円 ・賑わい創出イベント（委託料）：20,000千円 ○住みたいと思えるまちづくり ・移住促進事業（委託料等）：10,884千円 ・松山市防災教育推進協議会負担金：11,000千円 ○クロスメディアによる松山情報のタッチポイント増加 ・メディアプロモーション、情報発信等（委託料）：21,512千円		
KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①地域へのUIターン数（+600人） ②若者文化賑わい創出事業の市民参画者数（+40人） ③本市に関するポジティブツイート件数（+60,000件） ④発信した情報への接触人数（+81,100人）	関連URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

事業概要【デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	113,484千円（39,748千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・地域産業や観光関連産業、農林水産分野においてデジタル技術や新技術の活用による効率化や参入ハードルの低下、データマーケティングによるターゲット層の分析、充実した雇用機会や収益の向上、エビデンスに基づいたプロモーション戦略等を付加 ・地域産業のデジタル化やデータ分析に基づいた効率的な施策の実施により、関係人口の拡大、地域産業の活性化、実需の創出等につなげ、全国から選ばれるまちとなる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	〇デジタルマーケティングの手法を活用した地域産業及び観光振興 ・ECサイト等を活用した販売促進、観光振興（委託料）： 27,320千円 ・ファンサイト構築、関係人口との関係深化促進：7,500千円 ・デジタル人材育成セミナー（委託料）：2,700千円 ・デジタルマーケティング、データ分析（使用料）：924千円 〇先端機器を活用したスマート農業の促進等 ・スマート農業の研修、体験会（備品、消耗品費）：400千円 ・大学との共同研究（委託費）：904千円 （事業イメージ）		
KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①地域における新規雇用者数（+60人） ②参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額（+30.63億円） ③物産購買と観光のクロス利用者数（+3,815人） ④スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合（+50%）		
	関連URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html	

事業概要【第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	407,246千円（72,886千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・サステナブルツーリズムの誘客を通じて、滞在時間の延長による観光消費額の拡大を図る ・また、ツーリズムに訪れた若者たちに対して、関係性の維持・深化につながる取組を一体的に実施することで、松山市を第2のふるさととして、多様な形で関わる新しい人の流れを生み出す ・ソフト・ハード事業を一体的に取り組むことで、サステナブルツーリズムをビジネスとして実施できる体制を整備する		
事業概要・ 主な経費	○太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティ及びE-Bikeの活用 ・グリーンスローモビリティの運営（委託料）495千円 ・グリーンスローモビリティの維持管理（修繕料、保険料等）887千円 ・ソーラー充電スタンド交換用ケーブル（消耗品費）4千円 ○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームの支援 ・プラットフォームの運営（負担金）6,000千円 ・情報発信等（委託料）2,000千円 ○サステナブルツーリズムを実施・発展できる体制の整備 ・広域周遊型SDGs体験旅行プログラムの作成（負担金）2,500千円 ・旅行商品化の推進（負担金）14,000千円 ・SDGs修学旅行の誘致（負担金、消耗品費等）8,000千円 ・情報発信等（委託料）34,000千円 ・多言語対応などの受入環境の整備（負担金）5,000千円		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	★①サステナブルツーリズムの利用者数(+15,000人) ②サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合(+39.0%) ③ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数(+700人) ④グリーンスローモビリティの走行距離（+7,350km）		
関連URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html		